

平成30年度 神奈川県立川崎北高等学校不祥事ゼロプログラム

神奈川県立川崎北高等学校は、不祥事の発生をゼロにすることを目的として、次のとおり不祥事ゼロプログラムを定める。

1 実施責任者

神奈川県立川崎北高等学校不祥事ゼロプログラムの実施責任者は校長とし、副校長がこれを補佐する。

2 課題、目標及び行動計画

(1) 課題：法令遵守意識の向上(公務外非行の防止)

目標：教育公務員としての倫理感の向上。不祥事ゼロにより県民の信頼に応える。

行動：チェックリストを用いて定期的な日常点検を実施、その後検証。また、日常的な注意喚起を継続。特に採用5年未満の職員に対し、管理職、総括教諭を中心に声をかけ見守っていく。兼業兼職、営利企業従事等の法規遵守。

(2) 課題：業務執行体制

目標：入学者選抜業務における事故ゼロ、相互チェック体制の徹底と情報の共有による事故防止と職務の効率化を推進し、成績処理や通知表の作成等の教務関係業務、調査書等進路関係書類の作成や取扱いを適切に行う。

行動：入学者選抜業務の業務体制、特に採点から合否判定の業務体制の改善をさらに進める。成績処理支援システム登録時のチェック体制を確立する。管理職による文書管理の定期的なチェックによるスムーズな業務の引継ぎ。教務手帳の一括管理。成績処理マニュアルに従った成績処理の遂行。複数回の相互チェックの徹底。また、ヒヤリハット体験を職員間で共有し、報告・連絡・相談の徹底と疑問に思うことは何でも話し合える雰囲気職場づくり。

(3) 課題：体罰・不適切な指導の防止

目標：学校における生徒指導のあらゆる場面において人権を尊重した指導体制。体罰、不適切指導を未然に防ぎ、体罰を根絶。

行動：チェックリストを用いて定期的な日常点検を実施、その後検証。可能な限り複数で指導にあたる。部活動において心身の健康や安全に留意した指導を行う。特に若手の部活動顧問・運動部インストラクターを多くの職員で見守り、育成する職場環境をさらに進める。

生徒間、生徒及び保護者と教職員との良好な人間関係を構築する。「体罰防止ガイドライン」を活用し、体罰のない指導を徹底する等、職員対象に研修を実施。

(4) 課題：セクハラ・わいせつ行為の防止

目標：セクハラ、わいせつ行為の根絶

行動：チェックリストを用いて定期的な日常点検を実施、その後検証。職員同士で気づいたことを相談、話し合える職場環境づくり。セクハラに関するアンケート調査の実施。「ストップ・ザ・スクールセクハラ」やセクシュアル・ハラスメントに係るアンケート調査結果等資料を用いた研修会開催。

(5) 課題：会計事務等の適正執行

目標：私費会計基準の遵守。公費、私費会計(部費も含む)に係る事故を未然に防ぎ、適正で公正な予算編成に努め、会計に係る不祥事ゼロをめざす。

行動：チェックリストを用いての定期的な点検を実施、その後検証。私費会計基準について全職員への周知徹底と共に、PTA役員にも協力を依頼。支出伺い用紙等の適切な使用と整理、添付書類の確認とチェックを心がけ、日常的な注意喚起を行う。業者選定会議による適正かつ公正な発注業者選定に努める。会計担当者対象の研修会を実施し、適正な会計処理を指導する。不明な点は何でも相談できる雰囲気職場づくり。

(6) 課題：個人情報等の把握、情報セキュリティ対策

目標：携帯電話への個人情報の適正な登録の徹底。USBメモリ貸出及び個人情報校外持ち出しに関する紙ベースでの手続きの徹底。職員の情報セキュリティ技術の向上。

行動：チェックリストを用いて定期的な日常点検を実施、その後検証。個人情報の取扱いと情報セキュリティに関する研修会を実施するとともに、管理職による定期的な点検。情報記録媒体の使用方法和管理の徹底。答案等の成績処理関係情報の校外持ち出しは原則禁止、職員全体へ日常的な注意喚起。不明な点は何でも相談できる雰囲気職場づくり。

(7) 課題：交通事故防止、酒酔い・酒気帯び運転防止、交通法規の遵守

目標：交通法規を遵守し、交通事故・違反、酒酔い運転、酒気帯び運転ゼロ。

行動：チェックリストを用いて定期的な日常点検を実施、その後検証。交通事故防止、酒酔い・酒気帯び運転根絶に関する研修会を実施。

3 検証

2に規定する行動計画は日々実践することであるが、計画的に検証を実施する。

平成30年度12月までに研修等実施状況を確認し、未実施がある場合には平成31年1月中旬に補完措置を行う。また、平成31年3月末までに実施状況を再度確認し、自己評価を行いHPに掲載する。その結果、必要に応じて目標・行動を修正し次年度の不祥事プログラムを策定する。